

上水道コンクリート施設の防食工法

レジガードWP-NSシステム

厚生省令 第15号適合
JWWA K 143:2017 規格適合品



DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎ 03-5710-4501 ☎ 144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎ 011-822-1661 ☎ 003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎ 022-288-8866 ☎ 984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町8-1(斎喜センタービル)
北関東営業所 ☎ 0480-26-5111 ☎ 346-0003 埼玉県久喜市久喜中央1丁目5-18 (辻屋ビル)
新潟営業所 ☎ 025-244-7890 ☎ 950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎ 043-225-1721 ☎ 260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル)
神奈川営業所 ☎ 042-786-1831 ☎ 252-0233 相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎ 054-254-5341 ☎ 420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎ 06-6266-3116 ☎ 542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎ 052-332-1701 ☎ 460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎ 076-444-5260 ☎ 930-0005 富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎ 075-595-7761 ☎ 607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (京都山科ビル)
姫路出張所 ☎ 079-226-5727 ☎ 670-0965 兵庫県姫路市東延末一丁目1番地 (姫路NKビル)
岡山営業所 ☎ 086-214-1852 ☎ 700-0034 岡山県岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所 ☎ 082-286-2811 ☎ 732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎ 087-869-2585 ☎ 761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビル)
福岡営業所 ☎ 092-938-8222 ☎ 811-2317 福岡県糟屋郡柏屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>

※本カタログに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

2024HP E-8231.24.5 (AP)PRD
(97.10)

大日本塗料株式会社

上水道施設を安全に護る

上水道用コンクリート施設の多くは、水質保持及び塩素殺菌剤混入によるコンクリートの劣化防止のために、エポキシ樹脂塗料を塗装しています。日本水道協会規格としてJWWA K 143:1997水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法の規格化以来、当社はこれらの規格に適合する、無溶剤形エポキシ樹脂塗料「レジガードWP-NSシステム」を提供しています。

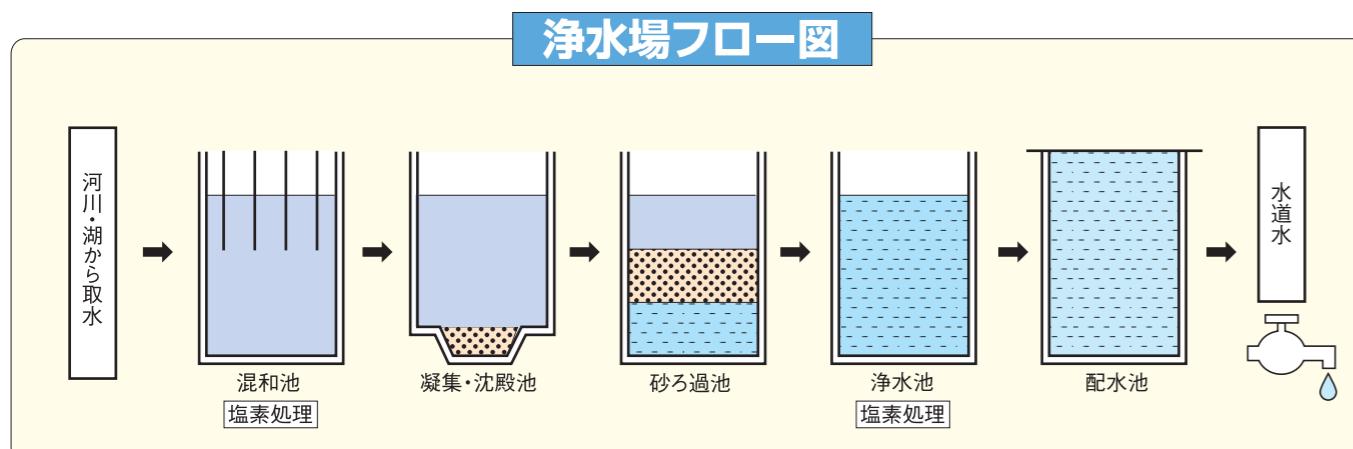
「レジガードWP-NSシステム」を上水道用コンクリート構造物内面に塗装することにより、良好な水質を維持でき、長期耐久性に優れたライニング被覆を形成します。臭気の問題もなく、さらに塗装システムとして適切な下地処理材を使用する事により、コンクリート躯体背面水の影響による不具合も解決できます。



レジガードWP-NSシステム

特長

- JWWA K 143に適合する無溶剤形エポキシ樹脂塗装システムです。
- 優れた塗膜物性と耐薬品性を有し、長期間コンクリートを保護します。
- 美しい光沢のある仕上がりが得られます。



使用材料一覧表

商品名	色	一般名称	容 量
レジガード WP-NSパテ	グレー	無溶剤形エポキシ樹脂パテ	8kgセット 主剤 6kg、硬化剤 2kg
レジガード WP-NS	ブルー	無溶剤形エポキシ樹脂塗料	10kgセット 主剤 8kg、硬化剤 2kg



用途

- 净水場・排水池・受水槽などの上水道コンクリート施設の防食
- 工業用純水槽・防火用水槽・排水ピットなどの防食

※上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

レジガードWP-NSシステム 仕上がり色イメージ*

*色はイメージです。実際の色は塗装見本にてご確認下さい。



標準仕様と施工手順

レジガードWP-NSシステム

標準仕様

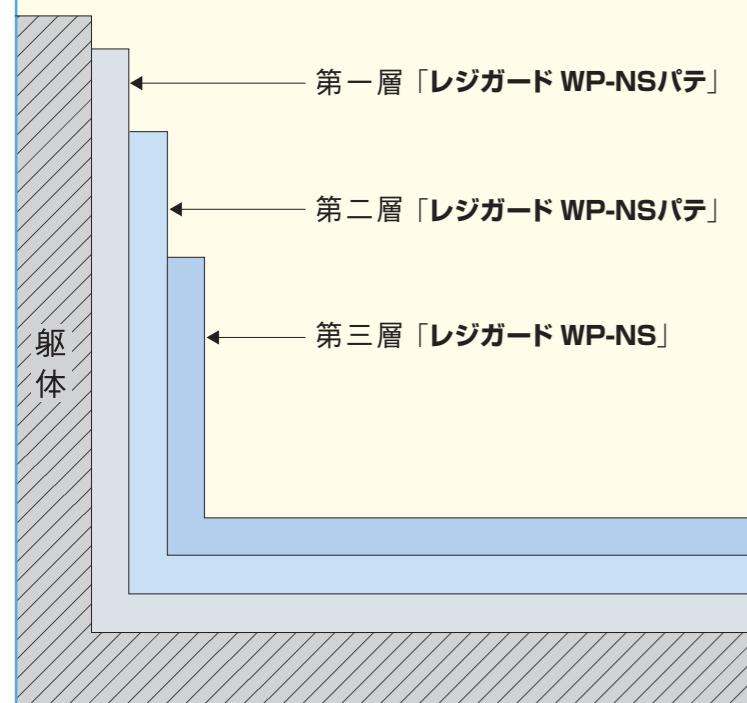
工程	使用材料名	塗装方法	標準使用量 (kg/m ²)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔 (20°C)
下地処理	前処理、素地調整はJWWA K 143:2017による。表面の脆弱層、その他の塵埃や異物を完全に除去する。突起物や段差等は動力工具や手工具を併用して平滑にする。全表面を処理した後、ブラシ、ほうき、エアーブロー等で被塗面を十分に清掃する。				
第一層	レジガード WP-NSパテ	ヘラ・コテ	0.60	500以上	16時間以上 7日以内
第二層	レジガード WP-NSパテ	ヘラ・コテ	0.60		16時間以上 7日以内
第三層	レジガード WP-NS	刷毛・ローラー	0.23	—	—

※ 詳細は「塗装仕様書」、「施工要領書」、「単品説明書」、「SDS」をご参考下さい。

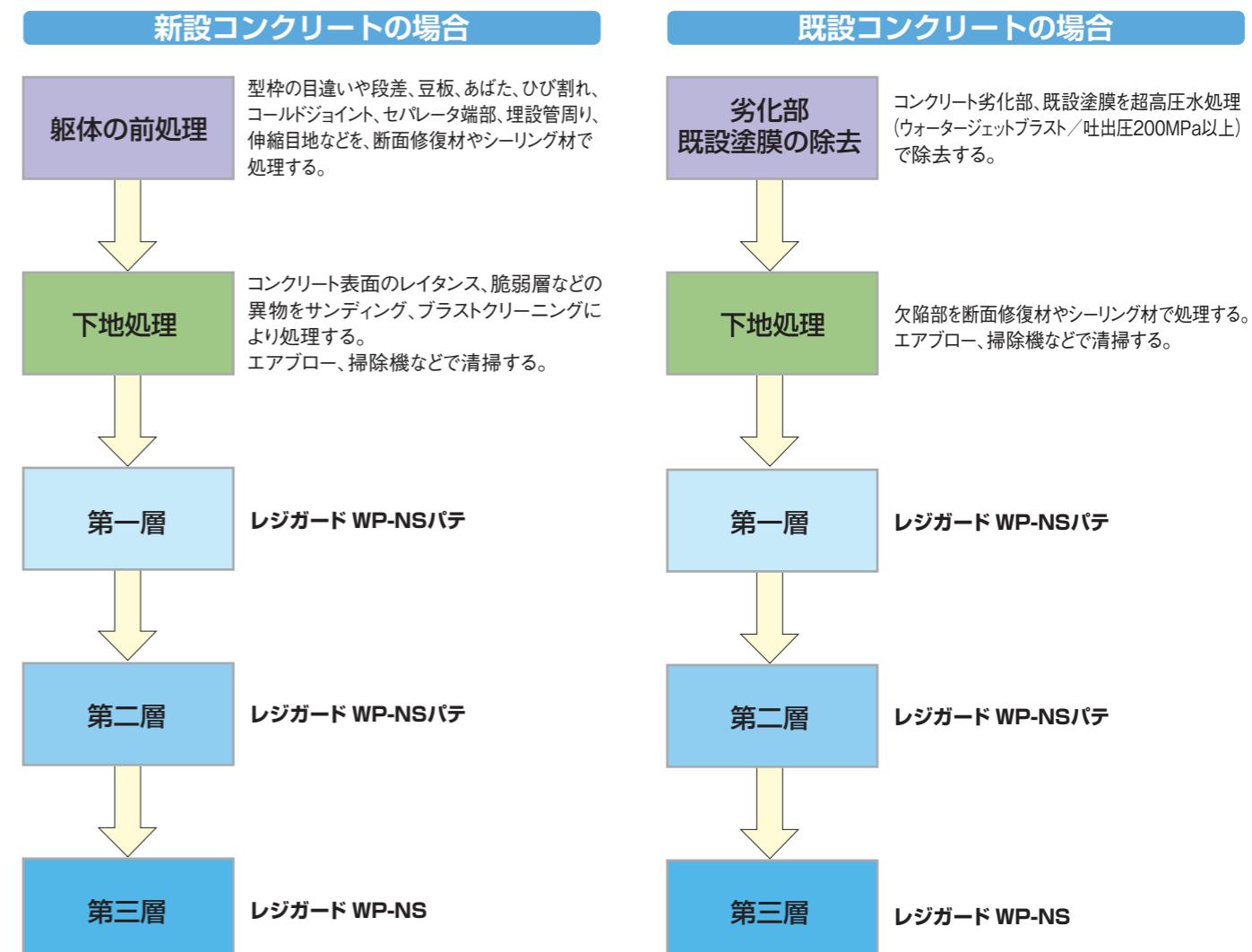
注) 軸体の断面修復・段差・セバレーター跡・極端なジャンカの修正などは、別途ご相談下さい。

注) JWWA K 143:2017にて硬化乾燥後の塗膜厚さは0.5mm以上と規定。

レジガードWP-NSシステム工法施工図



レジガード WP-NSシステムの施工手順



レジガードWP-NS

レジガードWP-NSパテ

塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	10kgセット(主剤:8kg、硬化剤:2kg)			
色相	ブルー			
光沢	つや有り			
密度 (23°C)	塗料	1.58		
	揮発分	—		
加熱残分	96%以上			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	20°C
	半硬化	40時間	24時間	16時間
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗装基準

項目	内容			
下地処理	—			
調合法	主剤:4部、硬化剤:1部(重量比)			
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C
	90分	60分	40分	20分
洗浄シンナー	レジガードシンナーB			
塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗り			
希釈率	—			
理論使用量	0.23kg/m ²			
標準膜厚	120μm			
ウェット管理膜厚	125μm			
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C
	最小	40時間	24時間	16時間
	最大	8時間		
	7日			

注)標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なります。

関連法規

項目	主 剤	硬化剤
危険物表示	第4類第4石油類	第4類第3石油類
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は事前にお問い合わせ下さい。

塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	8kgセット(主剤:6kg、硬化剤:2kg)			
色相	グレー			
光沢	—			
密度 (23°C)	塗料	1.46		
	揮発分	—		
加熱残分	96%以上			
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C
	半硬化	32時間	16時間	12時間
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗装基準

項目	内容			
下地処理	ディスクサンダー、ブラスト等			
調合法	主剤:3部、硬化剤:1部(重量比)			
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C
	90分	60分	40分	20分
洗浄シンナー	レジガードシンナーB			
塗装方法	コテ、ヘラ			
希釈率	—			
理論使用量	0.60kg/m ²			
標準膜厚	—			
ウェット管理膜厚	—			
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C
	最小	32時間	24時間	16時間
	最大	8時間		
	7日			

注)標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なります。

関連法規

項目	主 剤	硬化剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

JWWA K 143の概要

水道用コンクリート水槽内面用エポキシ樹脂塗装方法

1.塗料組成

無溶剤形エポキシ樹脂塗料、水系エポキシ樹脂塗料および速硬化エポキシ樹脂塗料の組成について、水質に悪影響を及ぼさない原料(樹脂・反応性希釈剤・非反応性希釈剤・着色顔料・体质顔料・添加剤)を用いています。

2.適用の範囲

浄水池・配水池・受水槽・暗渠などのコンクリート水槽。但し、オゾンに直接ふれる箇所は適用できません。

3.コンクリートについて

塗装対象コンクリートは、型枠はく離剤などを使用しないこと、1.2N/mm²以上の強度を有していること、含水率を測定し下地の乾燥を確認すること(含水率は塗料製造者仕様による)が決められています。(当社推奨:表面含水率5%以下:Kett社製HI-520による)

4.塗装施工について

漏水箇所の処理方法、膜厚が500μm以上、乾燥養生時間などが設定されています。

施工上の注意

- 下地の前処理、素地調整、施工などの条件はJWWA K 143:2017による。
- 各材料の詳細情報については「単品説明書」を参照下さい。
- 標準使用量は目安になる量であり、被塗物の形状、素地の状態、その他諸条件の変化により増減します。
- 素地調整は付着性等塗膜の耐久性に大きく影響するため、入念に行って下さい。
- 各材料の計量には必ず秤等を使用し、正確に計量して下さい。
- 隅角部やエッジ部は先行塗装、増し塗りを行って下さい。

- 規定時間以上経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパーなどで研磨し、シンナーを含ませたウエスで拭いて清掃してから施工して下さい。
- コンクリート表面の巣穴は十分に充填し平滑にして下さい。充填・滑化が不十分な場合、塗面に気泡が生じることがあるためご注意下さい。
- 素地調整、施工環境、使用量、施工間隔等は性能不良や密着不良等の不具合の原因となるため、十分にご注意下さい。
- その他不明な点がある場合は、別途お問い合わせ下さい。

使用上の注意

危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

- 詳しい内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- 取扱い上の注意
 - 火気のあるところでは使用しないで下さい。
 - 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
 - よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
 - 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 - 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
 - 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。